

まちづくり懇談会 市長挨拶要旨

令和7年2月17日～21日

- ・本市は、他の地方自治体と同様に、人口減少や財政規模が縮小していくことが想定されており、これまでどおりの行政サービスを維持していくというのが非常に困難な状況にある。
- ・今後、あらゆる手立てを尽くして、後世の子ども達のためにも、持続可能なまち・財政運営を目指していかなければならないと考えている。
- ・現在、本市は財政健全化実行計画の期間中で、当初見込んでいた効果額は得られているものの、その後の物価高騰や人件費の高騰、そういった影響があつて効果額が薄まっている状況にある。このことから、健全化実行計画が終了した後についても引き続き厳しい財政状況が見込まれ、聖域なく事務事業や公共施設の見直しを進めなければならぬ状況である。
- ・本市の新たな人口推計では、令和15年2033年に13,200人、令和32年2050年に8,600人程度の人口規模を想定しているが、この将来の人口を見据えた行政機能のダウンサイズが、将来にわたり安定した市民サービスの提供につながると考えている。
- ・職員の定員適正化については、これらの事業の見直しを進めながら適正な規模にしていこうと考えている。